

ブラジル 財務大臣が交代

ポイント① ブラジル 財務大臣が退任

ブラジルのルセフ大統領は18日、レビ財務相が年内に退任し、後任にバルボザ企画・予算管理相が就任すると発表しました。

レビ氏は財務大臣に就任後、プライマリーバランス（基礎的財政収支）の黒字化を重視し、大幅な歳出削減や増税に積極的な取り組みを行ってきました。ただし、急速な財政引き締め政策は議会内での反発を招き、難しい政治運営を強いられていました。バルボザ氏の就任で、政治運営の面では改善が見られる可能性があります。

ポイント② 後任にバルボザ氏、財政再建に不透明感

後任となるバルボザ氏は、財務大臣への指名発表後の記者会見でレビ氏が進めていた財政規律を維持し、経済政策を継続することを約束しました。ただし、バルボザ氏は従前レビ氏に比べて歳出増には柔軟な姿勢を示していました。今後は政府の財政規律維持の姿勢が緩み、再建に一段と時間がかかる可能性もあります。

市場からの信認が厚いレビ氏の退任により、同国の財政をめぐる不透明感が一段と強まる形となりました。

ポイント③ 「レビ氏退任」との観測で市場は下落

政府が公式な発表をしたのは金融市場の取引終了後でしたが、取引時間中にレビ財務相辞任の観測が広がり、18日のブラジルの金融市場では、為替、株式、債券共に下落しました。レアルは対円で前日比-3.7%、対米ドルで同-2.6%のレアル安。株式はボヘSPA指数が同-3.0%の下落。10年国債利回りは同0.3%の上昇（価格は下落）となりました。

財政再建が頓挫することがブラジルにとっての最も大きなリスクの一つであり、新たな財務大臣の下での財政政策のスタンスや進捗を注視する必要があります。

重要
イベント

12月21日 経常収支（11月）
12月29日 基礎的財政収支（11月）

図1：為替レートの推移

期間：2014年12月31日～2015年12月18日、日次



図2：ボヘSPA指数の推移

期間：2014年12月31日～2015年12月18日、日次

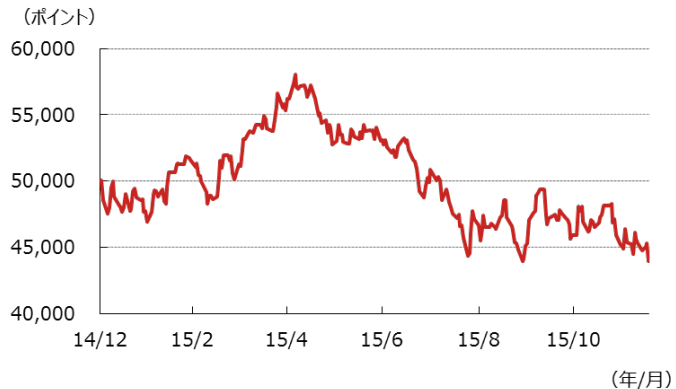


図3：10年国債利回り（現地通貨建て）の推移

期間：2014年12月31日～2015年12月18日、日次



(注) Bloombergジェネリック10年国債利回りを使用

(出所) Bloombergデータより野村アセットマネジメント作成